

日本脳神経超音波と栓子検出学会 認定脳神経超音波検査士  
改訂版資格申請用症例報告書(記載例) ①

日本脳神経超音波学会資格認定委員会御中

2011年 11月 20日 (西暦)

症例報告書 (①~⑦) を提出します。

申請者(自署) : 山田 太郎

印

上記の者が、提出した超音波検査症例報告書に関して相違ないことを証する。

2011年 11月 11日 (西暦)

施設名 : 脳神経超音波病院

職 名 :  医師  臨床検査技師  診療放射線技師  看護師  准看護師

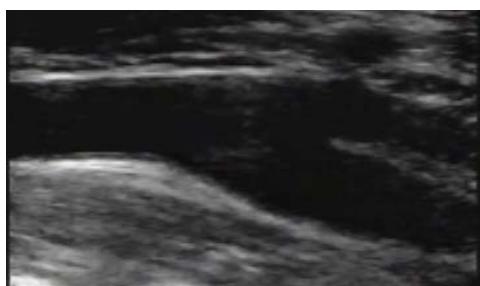
証明者(自署) : 川上 次郎

印

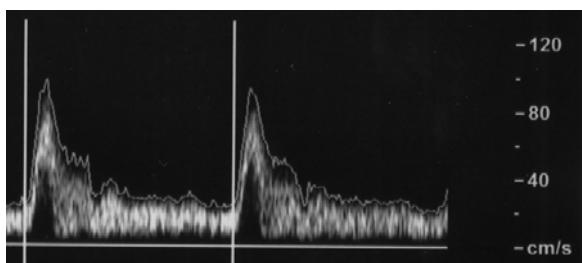
**頸部超音波検査**

(1) 一側の頸動脈分岐部の B モード画像 (総頸動脈と内頸動脈を連続して描出して下さい)。(2) 一側総頸動脈血流速度波形。(3) 一側椎骨動脈の B モード画像。(4) 一側椎骨動脈血流速度波形。(対象者は誰でも可。個人情報が特定できないよう配慮して下さい。下記スペースに収まるようトリミングして下さい。)

(1)



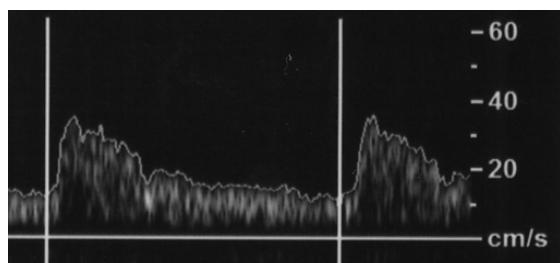
(2)



(3)



(4)

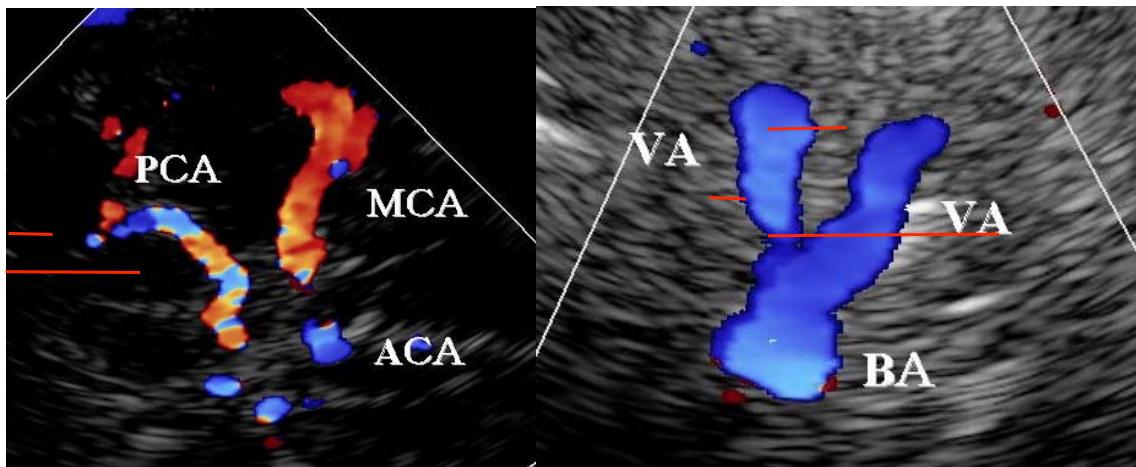


日本脳神経超音波と栓子検出学会 認定脳神経超音波検査士

改訂版資格申請用症例報告書(記載例) ②

経頭蓋超音波検査

左右どちらかの中大脳動脈、前大脳動脈、後大脳動脈、椎骨動脈、および脳底動脈のカラーフロー画像を貼付して下さい。一枚の写真に複数の血管を描出されてもけっこうです。各写真の下に対象血管名を明記して下さい。左右どちらかの中大脳動脈血流速度波形の写真を貼付して下さい。(対象者は誰でも可。個人情報が特定できないよう配慮して下さい。下記スペースに収まるようトリミングして下さい。)



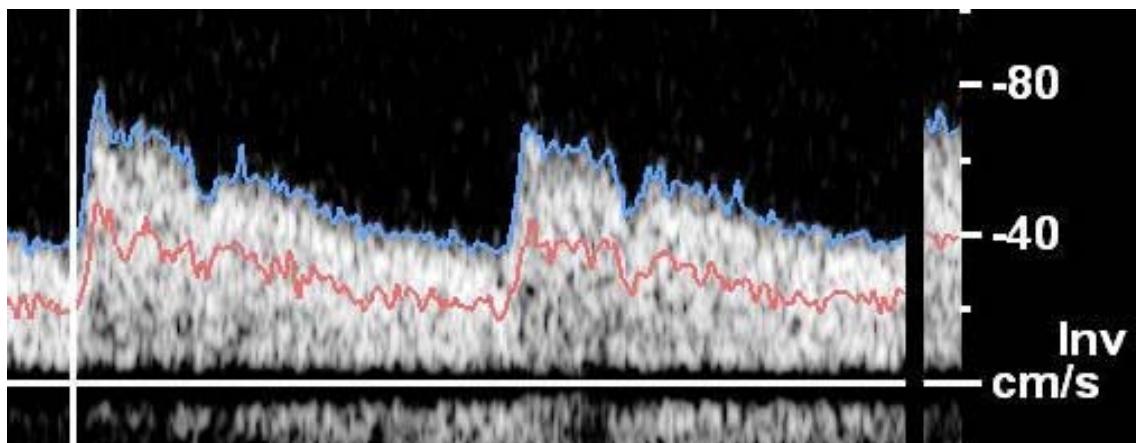
MCA:右中大脳動脈

VA : 左が右椎骨動脈、右が左椎骨動脈

PCA : 右後大脳動脈

BA : 脳底動脈

ACA : 右前大脳動脈



右中大脳動脈血流速度波形

# 日本脳神経超音波と栓子検出学会 認定脳神経超音波検査士

## 改訂版資格申請用症例報告書

### ③以降の書き方

記載に際して注意点を以下に記します。このページは送付する必要はありません。

(1) リスクは該当項目を○で囲み、記入項目を記載。

(2) 頸部超音波検査か経頭蓋超音波検査かを○で選択。頸部超音検査の報告には、頸動脈もしくは椎骨動脈の高度狭窄や閉塞例を、または経頭蓋超音波検査の報告には、異常所見を呈するものを少なくとも 5 例以上含め詳記すること。

※○印がずれていないか、ご提出前に再度、印刷した書類をご確認下さい。

(3) 頸動脈の場合、特異的な所見として、頸動脈閉塞（総頸動脈、内頸動脈起始部、遠位部を明記）の有無、狭窄度（面積、ECST、NASCET のいずれかの値を明記。NASCET は PSV からの推定でも可）、プラークの性状などを記載。

(参考) 狹窄率を最大 PSV で推定する方法：最大 PSV=200–230cm/s は推定で NASCET70% 相当、125–130 cm/s は推定で NASCET50% 相当として、推定で NACSET70% 以上、70–50%、50%未満と分類する。椎骨動脈閉塞が疑われる場合は、閉塞部位（起始部、後下小脳動脈分岐前、分岐後、もしくは後下小脳動脈止まり）を記す。正常の場合は左右総頸動脈の max IMT のみ記入。

(4) 経頭蓋超音波検査の場合は閉塞や狭窄（最高流速を併記）などの所見を記し、正常の場合は、任意の一動脈の収縮期、拡張末期、平均の血流速度を動脈名とともに記す。

### <記載例>

(1) 狹窄診断：面積 70%、ECST55%、NASCET80%、推定で NASCET70% 以上（理由：最大 PSV=210cm/s）

(2) 閉塞診断：

・CCA 内または ICA 起始部または VA 起始部閉塞（理由：CFI または PD でも内腔の血流シグナルが検出できない）

・ICA 遠位部閉塞疑い（理由：ICA 入口部の波形が to-and-fro 型、CCA (EDV) 比 = 4.3）

・VA PICCA 前閉塞疑い（理由：VA の EDV=0cm/s)、PICCA 後閉塞疑い（理由：平均流速 14cm/s、左右比 1.6、血管径比 1.2)、PICCA-end 疑い（理由：平均流速 8cm/s、左右比 2.0、血管径比 1.8)

## 日本脳神経超音波と栓子検出学会 認定脳神経超音波検査士 改訂版資格申請用症例報告書(記載例) ③

症例 1 年齢 70 歳 (男 女) (頸部、経頭蓋)  
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患 ( )、脈管疾患 ( )  
特異的な所見：右内頸動脈起始部 ECST70%狭窄

症例 2 年齢 76 歳、(男 女) (頸部、経頭蓋)  
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患 ( )、脈管疾患 (肺塞栓)  
特異的な所見：左内頸動脈閉塞 (CFI で内腔の血流シグナルが検出できない)

症例 3 年齢 55 歳、(男 女) (頸部、経頭蓋)  
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患 (心房細動)、脈管疾患 (右下肢動脈塞栓)  
特異的な所見：IMT 右 0.7mm、左 0.6mm

症例 4 年齢 82 歳、(男 女) (頸部、経頭蓋)  
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患 ( )、脈管疾患 ( )  
特異的な所見：左内頸動脈 面積 50%狭窄、右内頸動脈 面積 60%狭窄

症例 5 年齢 49 歳、(男 女) (頸部、経頭蓋)  
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患 ( )、脈管疾患 ( )  
特異的な所見：右内頸動脈起始部に厚さ 2.2mm のプラーク

症例 6 年齢 72 歳、(男 女) (頸部、経頭蓋)  
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患 (発作性心防細動)、脈管疾患 (大動脈炎)  
特異的な所見：右中大脳動脈閉塞 (CFI で内腔の血流シグナルが検出できない、後大脑動脈血流速度は検出可)

症例 7 年齢 65 歳 (男 女) (頸部、経頭蓋)  
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患 (僧帽弁狭窄)、脈管疾患 ( )  
特異的な所見：左中大脳動脈狭窄 (最大 PSV は 300cm/sec)

症例 8 年齢 55 歳 (男 女) (頸部、経頭蓋)  
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患 ( )、脈管疾患 ( )  
特異的な所見：右中大脳動脈 160/60/110 cm/sec (収縮期/拡張期/平均)

症例 9 年齢 84 歳、(男 女) (頸部、経頭蓋)  
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患 ( )、脈管疾患 ( )  
特異的な所見：右椎骨動脈 PICA 前閉塞 (理由 : VA の EDV=0cm/sec)

症例 10 年齢 49 歳、(男 女) (頸部、経頭蓋)  
高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、虚血性心疾患、動脈解離、心疾患 ( )、脈管疾患 ( )  
特異的な所見：左内頸動脈 推定で NASCET70%以上狭窄 (理由 最大 PSV=250cm/sec)